

# 財政 特集

## 最優先課題は財政健全化 平成17年度決算と市の財政状況

平成17年度の匝瑳市の決算がまとまりました。匝瑳市誕生の1月23日から3月31日までの歳入歳出を調製したもので、年度の途中からという特殊事情のため、通年ベースとは異なる決算内容となりました。また、平成17年度決算から見た市の財政状況について、一般会計を中心にお知らせします。

### 平成17年度決算

一般会計決算額は、歳入総額が44億3656万3千円、歳出

総額が39億8301万5千円となりました。

歳入では、地方特例交付金や前年度繰越金は旧市町の決算で全額収入済となりましたが、主に年度末に交付される国・県支出金などは、旧市町分も含めて本決算で収入しています。

また、歳出では、限られた執行期間のため、市道の整備や共興小学校の改築など、旧市町で実施した事業を引き継いだものが大半となりました。このうち電算システムの統合や看板などの修正といった合併に伴う経費の約9割相当額を匝瑳市において支出しました。

改築された  
共興小学校校舎



平成17年度会計別決算額	主な事業	
<b>【一般会計】</b>		
歳入 44億3,656万円	合併に伴う庁舎レイアウト変更工事に・・・ 1,839万円	
歳出 39億8,302万円	不発弾などの発掘処理に・・・ 873万円	
<b>【特別会計】</b>		
<b>国民健康保険特別会計</b>		
歳入 12億4,695万円	合併に伴う新電算システムおよびネットワークの整備に・・・ 6億5,233万円	
歳出 10億7,467万円	身体障害者および知的障害者施設訓練等支援に・・・ 3,366万円	
<b>老人保健特別会計</b>		
歳入 8億2,855万円	重度心身障害者（児）医療費の助成に・・・ 2,139万円	
歳出 7億7,049万円	老人保護措置費に・・・ 2,259万円	
<b>介護保険特別会計</b>		
歳入 5億7,099万円	保育所の運営に・・・ 1億1,693万円	
歳出 4億9,797万円	合併処理浄化槽設置促進事業に・・・ 2,664万円	
<b>病院事業会計</b>		
収益的収支	排水路の整備に・・・ 3,101万円	
収入 4億6,320万円	道路の新設改良工事に・・・ 3,742万円	
支出 3億9,332万円	消防組合の運営に・・・ 3,708万円	
資本的収支	共興小学校校舎の改築に・・・ 2億7,044万円	
収入 3,019万円	中学校校舎等の整備に・・・ 777万円	
支出 6,212万円		
	主な基金(市の貯金)	
	財政調整基金 5億6,903万円	土地開発基金 1億 85万円
	減債基金 9,507万円	スポーツ振興基金 1億 20万円
	社会福祉振興基金 5億 243万円	育英資金貸付基金 1億4,410万円
	ふるさと振興基金 1億4,115万円	学校施設整備基金 9,341万円

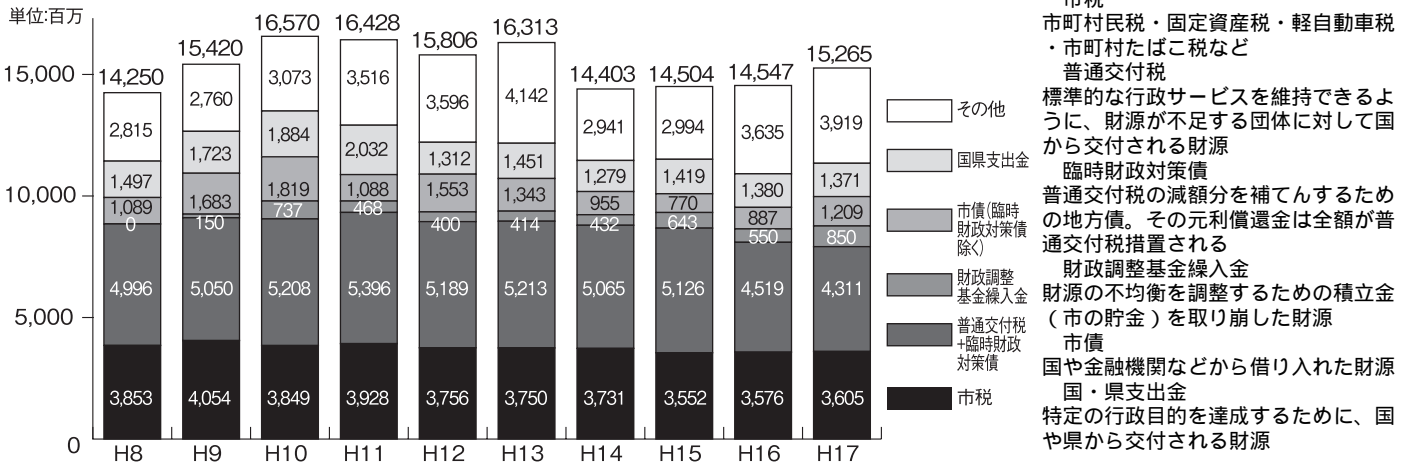
### 財政状況の推移

平成17年度決算から市の財政状況を年度別に比較してみます。左ページのグラフは旧八日市場市と旧野栄町の決算額を合算し、それぞれ通年ベースの決算に置き換えて、年度別に歳入・歳出および主な財政指標の推移を表したものです。

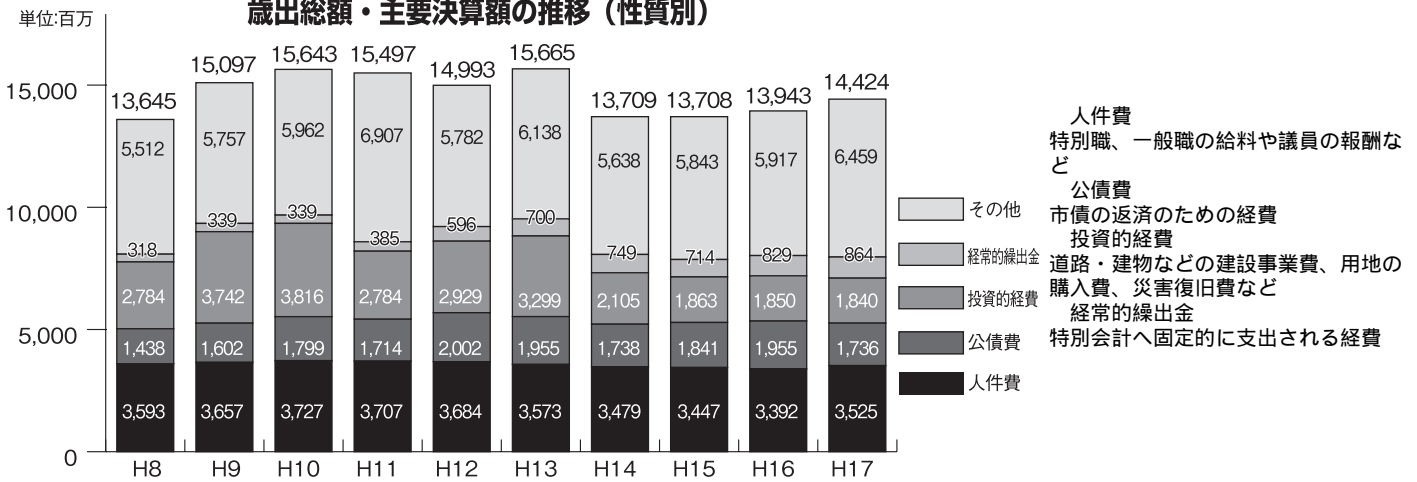
歳入の根幹となる市税は、平成9年度と比較すると4億5千万円、また、地方交付税（臨時財政対策債を含む）ではピーク時の平成11年度から10億9千万円も減額となっています。市の財源のおよそ5割を占める市税と地方交付税の大幅な減少に対して、旧市町では行政改革や財政健全化プログラムを推進し、歳入の確保と歳出の削減に努めてきました。減少額に見合うまでの効果は得られませんでした。これまで財源不足については、財政調整基金などを取り崩して補ってきましたが、平成18年度末にはこれらの貯金も底を突く見込みです。

今後、人件費の削減など合併による財政効果は期待できるものの、当面は、なお一層厳しい状況が続くことから、市では財政の健全化を最優先課題に、持続性と自律性のある財政運営の実現に取り組んでいきます。

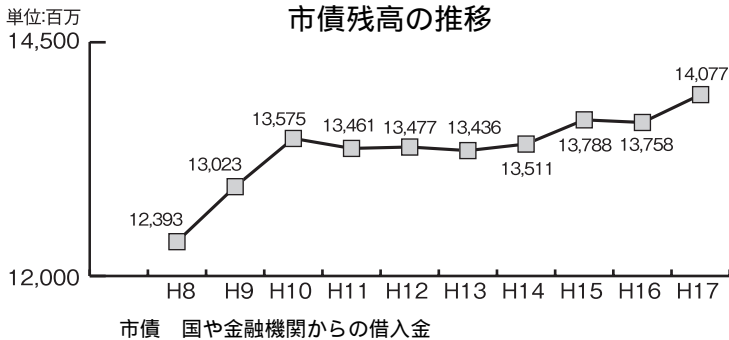
## 歳入総額・主要決算額の推移



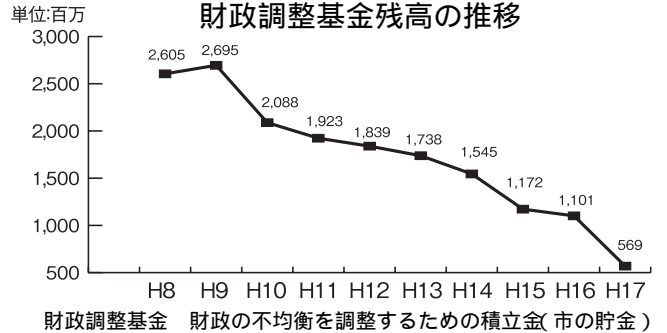
## 歳出総額・主要決算額の推移(性質別)



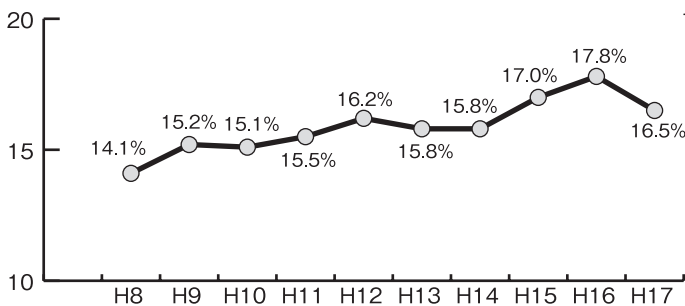
## 市債残高の推移



## 財政調整基金残高の推移



## 公債費比率の推移



## 経常収支比率の推移

